

事業報告書

平成 21 年度に策定した、泉佐野市地域福祉活動計画期間が 26 年度に終了することを踏まえ、泉佐野市行政と更なる連携を図るために、連携・協働を取りながら、「泉佐野市地域福祉活動計画」の策定に着手し、市民向けアンケートや地域住民懇談会を実施し、地域における強みや課題を発見することができた。

本協議会の 45 周年にあたり、今まで社協を支えてくださった多くの人たちに感謝の意を表すために、表彰状・感謝状を贈呈し、基調講演では生まれながらの先天性四肢欠損症のシンガーソングライターの佐野有美さんのたくましく生きる話しが聴衆に感銘を与えた。

社協の要となる地域福祉事業については、市内全域に設置している 14 地区福祉委員会が主体となり高齢者や障がい者宅への定期的な声かけ訪問活動やふれあいいいきサロン・子育てサロン等、地域の特色を生かした小地域ネットワーク活動に継続的に取り組むことができた。

ボランティアセンター事業については、登録ボランティアのスキルアップの“ボランティア入門”やステップアップ講座、新規登録発掘のための“はじめてのボランティア講座”を開催した。また、ボランティアについての理解を深めるために開催した「ボランティアフェスティバル」については多くの市民の参加を得た。

総合相談事業については、心配ごと相談所の開設や初めての試みである出張相談所を実施し多くの相談者が訪れた。

在宅福祉事業については、市内の事業所やボランティア団体の継続的な協力を得て高齢者給食サービス事業を展開、毎週火曜日の配食サービスや大晦日のおせち料理を実施することができた。

地域包括支援事業については、高齢者の介護予防の包括的な事業を展開、関係機関と連携したさまざまな連絡会や研修会・地域での介護予防教室等を開催した。また、認知症を抱えた家族や関係機関を対象とした「認知症カフェ」の開催については成果をあげることができた。

日常生活自立支援事業については、認知症高齢者や障がい者の財産や権利を守るために、専門員がきめ細かく対応し契約件数も増えてきている。

災害に強い街づくりを求めるために、関係役職員を対象とした災害発生時のシミュレーションを開催し、災害発生時には迅速に対応することの必要性を学んだ。

福祉センター管理事業については、多くの人たちが利用しやすいための管理運営に努め、福祉センターを理解していただくためにふれあい交流会等を実施した。

共同募金事業については、社協関係者の協力を得ながら街頭募金活動を実施するなど関

係機関への周知徹底をおこなった。

介護支援サポーター事業については、サポーターの増を図るため社協広報紙等での啓発に努めた。

社協自主財源の確保として、各町会に協力を求めながら実施している社協会員会費については一人でも多くの理解者を増やすため、役員・管外研修をおこなった。

高齢者・障がい者等社会的弱者の方々にも住みよい地域福祉の推進に関係者・関係機関と連携し以下のとおり取り組んだ。

〔1〕法人運営関係

法人の運営を円滑にするため下記の会議、研修会を開催した。

(1) 定例理事会の開催	1 1 回
(2) 三役会の実施	2 回
(3) 定例評議員会の開催	2 回
(4) 監査の実施	1 回
(5) 地域包括担当理事連絡会の開催	2 回
(6) 財務・予算担当理事連絡会の開催	2 回
(7) 理事・監事・評議員合同研修会の開催	2 回
①開催日 / 平成 25 年 8 月 12 日 (月)	
内 容 / 地域福祉活動計画策定に関わる社協関係者研修	
場 所 / 社会福祉センター	
②開催日 / 平成 26 年 3 月 8 日 (土)	
内 容 / 災害ボランティアセンターの模擬訓練	
場 所 / 社会福祉センター、ボランティアセンター	
(8) 理事・監事・地区福祉委員会役員合同視察研修会の開催	1 回
(9) 法人化 45 周年福祉大会の開催	1 回

〔2〕地域福祉事業の推進

平成 7 年度から取り組んだ『小地域ネットワーク活動』は、すべての地区（支部）で一人暮らし高齢者や高齢者世帯・障がい者等への個別支援活動や町内会館等では、ふれあいいきいきサロンや世代間交流会・子育てサロン等が積極的に開催された。

また、障害者社会参加促進事業についてはモデル事業最終年度であり、地域での交流事業を開催することによって、障がい者が参加しやすいふれあいサロンの必要性を発見することができた。

さらに、「市地域福祉計画」ならびに「社協地域福祉活動計画」の見直し年度でもあり、市と連携しながら住民アンケートの実施や地域懇談会を開催し、地域の特色や課題を見つけることができた。

1. 小地域ネットワーク活動地区の指定

《 7 年度～》 (1) 日新地区福祉委員会連合会・・・〔4 支部〕

- (2) 佐野台地区福祉委員会・・・〔4支部〕
- (3) 北中地区福祉委員会・・・〔3支部〕
- (4) 三小地区福祉委員会・・・〔3支部〕
- (5) 末広地区福祉委員会・・・〔6支部〕
- 《8年度～》 (6) 一小地区福祉委員会・・・〔8支部〕
- 《9年度～》 (7) 長滝地区福祉委員会・・・〔4支部〕
- 《10年度～》 (8) 上之郷地区福祉委員会・・・〔7支部〕
- 《11年度～》 (9) 大土地地区福祉委員会・・・〔2支部〕
- 《12年度～》 (10) 長坂地区福祉委員会・・・〔9支部〕
- 《13年度～》 (11) 日根野地区福祉委員会・・・〔9支部〕
- 《14年度～》 (12) 南中地区福祉委員会・・・〔4支部〕
- (13) 中央地区福祉委員会・・・〔6支部〕
- 《15年度～》 (14) 二小地区福祉委員会・・・〔9支部〕

2. 連絡会の開催

- (1) 地区福祉委員会連絡会の開催 3回
- (2) 支部連絡会の開催 1回

3. 研修会・講座等の開催

- (1) 子育てサロン実施地区研修会・連絡会

開催日 / 平成 25 年 10 月 23 日 (水)
 内 容 / 地域ぐるみの子育てサロン
 講 師 / NPO 法人 ハートフレンド

- (2) 先進地視察研修会の開催

開催日 / 平成 25 年 11 月 21 日～22 日 (木～金)
 内 容 / 岐阜県関市社会福祉協議会「会員会費募集と支部社協の取組」
 参加者 / 32 名 (理事・監事合同)

- (3) 小地域を支えるボランティア講座の開催

開催日	内 容	参加者
7 月 19 日 (金)	○介護予防の必要性 ○小地域における助け合い活動の必要性 講師/財団法人大阪府レクリエーション協会 公認講師 大橋 一美氏	18 名
7 月 31 日 (水)	○小地域助け合い活動の必要性 講師/桃山学院大学社会学部 教授 石田 易司氏	33 名
8 月 2 日 (金)	○車イス・アイマスク体験 講師/大阪体育大学健康福祉学部 教授 安場 敬祐氏	19 名

開催日	内 容	参加者
8月9日 (金)	○地域で暮らす障がい者 講師／社会福祉法人 清光会ひねのホーム サービス管理者 古谷 孝夫氏	22名

(4) 小地域ネットワーク活動報告集会の開催

開催日 / 平成26年3月20日(木)

内 容 / 事例報告

①北中地区『障害者社会参加促進事業』

②東佐野台支部『見守りやサロン活動』

基調講演 車イスダンス実演・講演

ジュネス・オブ・エンターテインメント

参加者 / 206名(地区関係者・一般市民含む)

4. 地区福祉委員会と連携した障害者社会参加促進事業

(1) 実行委員会の開催

4回

(2) 交流事業の開催

①障がい者ふれあい交流会

1回 参加者 42名

②長坂地区ふれあい交流会

1回 参加者 200名

③ボッチャ・ゲーム交流会

3回 参加者 5名

④北中地区ふれあい交流会

1回 参加者 43名

⑤小地域ネットワーク活動報告集会

1回 参加者 206名

5. 小地域ネットワーク活動の実績

《個別訪問活動》

項目 支部	ネット数 (計)	月1回以上の定期的な訪問			延べ 訪問回数	延べ 訪問人数	登録協 力員数
		65歳以上 独居高齢者	65歳以上 高齢者世帯	その他 障害者他			
日新地区	121	116	1	4	2,155	2,745	57
佐野台地区	189	159	30		6,933	8,229	127
北中地区	72	71	1		889	2,103	65
三小地区	90	78	8	4	2,680	4,962	65
末広地区	62	59	2	1	1,428	2,968	117
一小地区	208	202	3	3	3,256	7,144	172
長滝地区	35	35			639	1,523	20
上之郷地区	39	34	2	3	654	968	91
大土地区	33	30	3		447	749	57
長坂地区	202	181	20	2	4,915	9,236	151
日根野地区	144	131	13		2,629	3,802	228

項目 支部	ネット数 (計)	月1回以上の定期的な訪問			延べ 訪問回数	延べ 訪問人数	登録協 力員数
		65歳以上 独居高齢者	65歳以上 高齢者世帯	その他 障害者他			
南中地区	161	161			2,978	7,397	86
中央地区	181	177	3	1	3,927	4,455	108
二小地区	173	169		4	3,289	4,641	165
合計	1,710	1,603	86	22	36,819	60,922	1,509

《グループ支援活動》

項目 支部	実施回数 (計)	グループ支援活動内訳			参加者内訳	
		いきいきサロン	世代間交流会	子育てサロン	対象者	関係者
日新地区	49	23	2	24	1,326	462
佐野台地区	74	67	7		1,946	770
北中地区	59	45	4	10	1,715	758
三小地区	94	7	4	83	1,167	618
末広地区	65	40	3	22	841	424
一小地区	262	182	17	63	6,658	1,496
長滝地区	38	37	1		285	438
上之郷地区	59	47	2	10	900	344
大土地地区	31	23	8		982	142
長坂地区	244	222	22		3,699	1,052
日根野地区	189	158	9	22	3,624	959
南中地区	103	68	23	12	1,838	659
中央地区	150	82	3	65	2,062	663
二小地区	219	201	6	12	4,095	926
合計	1,636	1,202	111	323	31,138	9,711

〔3〕災害に強い街づくり事業の推進

地域福祉活動の支援の一環として、必要に応じて情報提供や相談支援を行ったほか、緊急時に泉佐野市社協災害救援マニュアルが有効に機能するように、役職員研修を行った。

1. 関係役職員を対象とした災害発生時のシミュレーションの実施

災害救援マニュアルに基づき、災害ボランティアセンター設置時のボランティア依頼およびボランティア派遣の流れを再確認した。

開催日 / 平成26年3月8日(土) 午前8時30分～12時

場所 / 社会福祉センター、ボランティアセンター

参加者 / 社協理事・評議員・職員 合計 38 名

2. 図上訓練用大判地図の提供

1 2 地域へ提供

- ・南中樫井東、南中安松、貝田町、松原町、松原団地住宅、羽倉崎町、笠松町、長滝東ノ番、長滝西ノ番、長滝中ノ番、長滝住宅、幸町

3. 自主防災会組織等への活動支援・出席等

日時	地域	内容
9 月 28 日(土)	笠松町	図上訓練、地域点検
10 月 20 日(日)	笠松町	避難訓練他（草の根防災訓練）
10 月 20 日(日)	春日町	避難訓練 説明(災害ボランティアセンター・社協の役割について)
10 月 27 日(日)	高松町	A E D、救命方法研修（草の根防災訓練）
11 月 3 日(日)	長滝地区合同	図上訓練、消火訓練他（草の根防災訓練）
11 月 10 日(日)	末広地区合同	防災談話
2 月 2 日(日)	羽倉崎町	図上訓練
2 月 15 日(土)	日根野地区合同	阿倍野防災センター研修
2 月 23 日(日)	羽倉崎・松原・ 松原団地住宅 合同	避難訓練、防災談話他（草の根防災訓練）
3 月 14 日(金)	元町	津波・高潮ステーション研修

〔4〕 ボランティアセンター事業の推進

ボランティアセンター運営委員会により、ボランティアセンターの運営及びボランティア講座・研修会やイベントの検討、開催を行った。

新規ボランティア発掘のために、はじめてのボランティア講座や、ボランティアフェスティバルの開催、登録ボランティアのスキルアップのため、ボランティア入門講座やステップアップボランティア講座の開催、壊れたおもちゃを無償で修理するボランティアグループの立ち上げを目指し養成講座を行った。また、金曜日にはボランティアセンター運営委員が午前午後各 2 名交代でボランティアセンターの運営にあたった。

登録ボランティアグループ、登録施設を対象に連絡会を開催し、情報交換を行った。

また、5 名のボランティアアドバイザーがボランティアの相談にのり、施設（団体）との調整役として活動を行った。

1. 各種会議の開催

- | | |
|-------------------------------|-------|
| (1) ボランティアセンター運営委員会の開催 | 5 回 |
| (2) ボランティアアドバイザー連絡会の開催（サロ開催時） | 1 2 回 |
| (3) 登録ボランティアグループ連絡会の開催 | 2 回 |
| (4) 登録施設担当者連絡会の開催 | 2 回 |

2. サロン・ド・ボランティアの開設とボランティア活動のコーディネート

(1) 個人登録ボランティア

毎月開催のサロン・ド・ボランティアにおいてボランティア活動のコーディネートを行い、新規団体からの活動依頼もあり活動受入の幅が広がった。平成 25 年度の 3 月末の登録ボランティアは 167 名、延べ活動人数は 2,094 名である。内訳は下表のとおり。

分野	施設名	活動内容	延べ活動者数
保 育	木馬園	一時保育	114 名
高齢者	幸テ イービスセンター	話し相手、レクリエーション補助	52 名
	泉ヶ丘園	外出付添、レクリエーション補助	106 名
	アムリタ	話し相手、レクリエーション補助	101 名
	グループホーム泉州	レクリエーション補助	129 名
	暢楽荘	レクリエーション補助	95 名
	犬鳴山荘	レクリエーション補助	71 名
	エルダーケア	レクリエーション補助	177 名
	栄公苑	レクリエーション補助	104 名
	来友館	囲碁・将棋対戦相手、レクリエーション補助	35 名
テ イービスひだまり湊	レクリエーション補助	19 名	
障がい者 (児)	スポーツ教室	スポーツ介助	63 名
	ぎんなん、ふ・ふ・ふ	作業補助、スポーツ介助	177 名
	ベルカント	作業補助	238 名
	すずらん	レクリエーション補助	40 名
	泉友会	レクリエーション補助	10 名
	ささゆり作業所	イベント手伝い	15 名
社 協	声のボランティア	市報朗読	120 名
	ボランティアセンター	イベント手伝い、サロン喫茶、相談受付	229 名
	行事		114 名
	サロン・ド・ボランティア		85 名

(2) グループ登録ボランティア

ボランティアグループの育成・支援をするために無償でボランティアセンターや福祉センターの会議室や機材等の貸し出しを行い、また、社協事業において登録グループに協力を求め、外部からの派遣依頼に対しグループの紹介を行った。

3月末の登録ボランティアグループは13グループである。

ボランティアセンターからの活動依頼及び紹介による活動実績は下記のとおり。

グループ名	活動内容	活動回数	延べ活動者数
ぶどうの会	おせち料理の箸づくり	1回	18名
	クリスマスツリーの飾り作り	2回	22名
手話サークル いちよう	手話通訳（社協チャリティバザー）	1回	3名
	手話通訳（社協ふれあいクリスマス会）	1回	2名
	手話通訳（ボランティアフェスティバル）	1回	6名
リフォーム なでしこ	社協ふれあいクリスマス会プレゼント制作	12回	126名
	ズボン、シャツのファスナー付け	6回	28名
	日根野子育てサロンのプレゼント制作	1回	5名
ヘルメットの会	チャリティバザー事業手伝い	1回	5名

3. 講座及び研修会の開催

(1) おもちゃの修理隊養成講座

無償でおもちゃを修理し、生命を与えることによって価値を見出し、物の大切さを育むようなボランティアグループの立ち上げを目指し養成講座を行った。

開催日	場 所	内 容	参加者数
7月20日	社会福祉センター	実際に取り組んでいる人からの話や具体的な修理方法	15名
8月24日	アピア泉南	泉南おもちゃ病院見学	8名

(2) ボランティア入門講座

登録ボランティアが、安心してボランティア活動に参加できるようボランティア入門講座を開催した。

開催日	場 所	内 容	参加者数		
			申込者	アドバイザー	合計
8月10日	社協ボラン ティアセンター	・車椅子・アイマスクの取り 扱い	9名	3名	12名
1月20日			3名	3名	6名

(3) はじめてのボランティア講座

これからボランティア活動をしてみようと思っている人たちが活動の第一歩を踏み出していただくきっかけを作るとともに新規の登録ボランティアを増やすことを目的にはじめてのボランティア講座を開催した。

開催日	場 所	内 容	参加者数
7月3日	ボランティアセンター	ボランティアとは何だろう・ボランティア活動の必要性	14名
7月10日	ライフワークぎんなん	施設見学	13名
7月17日	エルダーケア	施設見学	14名
7月24日	ボランティアセンター	サロント・ボランティア見学	16名

(4) ステップアップボランティア講座

登録ボランティアや受入施設（団体）が、ボランティア活動の心構えを理解することで、資質向上を図ることを目的にステップアップボランティア講座を開催した。

開催日	場 所	内 容	参加者数		
			申込者	アドバイザー	合計
11月27日	社協ボランティアセンター	ボランティア活動の心構えとは？（登録V, 施設）	80名	5名	85名

(5) ボランティア日帰り研修会

登録ボランティアの資質向上と親睦を図ることを目的とする。

開催日 / 10月2日（水）

場 所 / ATCエイジレスセンター・津波高潮ステーション

参加者 / 47名

(6) ボランティアセンター運営委員視察研修会

先進地区の視察研修を行い、運営委員の資質向上を図ることを目的とする。

開催日 / 8月5日（月）

場 所 / 宇治ボランティア活動センター

参加者 / 14名

4. 各種行事

(1) 障がい児者ふれあい交流会

市内在住の障がい者、関係団体、ボランティア等が連携をとりながら人とのふれあいを通じて障がいについての理解と認識を深めるために、障害者社会参加促進事業と合同で開催。

開催日 / 11月17日（日）

場 所 / 社会福祉センター3階

内 容 / 陶芸、輪投げ、たこ焼、ボランティアとの交流 他

参加者 / 対象者・同伴者16名・ボランティア等26名 合計42名

(2) 第35回 社協チャリティバザー

社会福祉関係団体及び協力団体・グループが、あらゆる品物を持ち寄り市価の半額程度で一般市民に販売、売上金はすべて市民の福祉活動のために使用する。

売上金 1,766,189円 （昨年比 +225,669）

開催日 / 12月8日(日)
 場所 / 社会福祉センター、ボランティアセンター
 内容 / 物品販売・オークション・喫茶コーナー等
 協力者 / 各種団体70名・ボランティア40名・社協関係者17名
 合計127名

(3) 第35回 社協ふれあいクリスマス会

障がいをもつ児童や家庭児童相談員が関わっている子ども、両親のいない児童や交通遺児を対象に社協ふれあいクリスマス会を開催。

開催日 / 12月21日(土)
 場所 / 泉の森ホール レセプションホール
 内容 / 音楽ショー、大道芸、手作りプレゼント
 参加者 / 対象児童65名・同伴者123名(大人77名、子ども46名)・
 ボランティア40名 合計228名

5. ボランティアセンター会議室利用件数

	1階		2階		合計
	AM	PM	AM	PM	
4月	6	13	10	12	41
5月	12	14	3	14	43
6月	8	13	7	13	41
7月	8	14	4	14	40
8月	6	11	5	14	36
9月	6	10	7	9	32
10月	12	15	6	13	46
11月	6	11	3	11	31
12月	11	12	10	14	47
1月	5	9	5	12	31
2月	9	12	5	10	36
3月	0	0	5	11	16
合計	89	134	70	147	440

6. 善意銀行 寄託・払い出し状況

寄託件数	39件
寄託金額	1,995,865円
寄託物品	ベルマーク、車椅子、プラモデル・塗料 日用品・玩具一式

払い出し件数	7件	
払い出し金	① 障がい児のためのサマースクール	50,000 円
	② 障がい児理解の冊子印刷代	305,340 円
	③ ボランティアフェスティバル開催諸費	269,000 円
	④ 法人化 45 周年記念事業諸費	357,080 円
	⑤ 社協だより発刊	423,753 円
	⑥ チャリティバザー開催諸費	101,000 円
	⑦ ふれあいクリスマス会開催諸費	108,706 円
	合 計	1,614,879 円

〔5〕 総合相談事業の推進

『心配ごと相談所』の相談実績は以下のとおりで、内容に応じて関係機関等と連携し、問題解決の調整を行った。

1. 心配ごと相談所の開設

相談員数	13名
開設延日数	44日
出席延相談員数	90名
相談者数	37名（うち出張相談6名）
相談件数	43件（うち出張相談6件）
相談員連絡会議	1回
出張相談	8月29日(木)相談員9名 ショッピングモール泉佐野

※相談状況

内容 対象者	家族関係	他の人間関係	病 気	仕 事	法 律	金 銭 関 係	そ の 他	計
高齢者	5	2	1	0	3	5	4	20
障がい者	0	0	1	1	0	1	1	4
子育て中の親	3	0	1	0	0	2	0	6
その他	5	1	1	2	1	1	2	13
計	13	3	4	3	4	9	7	43

※対応

傾聴	27件
助言	21件
他機関紹介	5件（市役所・CSW 2件、りんくる1件）

〔6〕コミュニティソーシャルワーカー（新池校区担当）設置事業の推進

要援護者からの相談状況

相談内容 対象者	サ ー ビ ス ・ 福 祉 制 度 ・	生 活	健 康 ・ 医 療	生 活 費	就 労	D V ・ 虐 待	住 宅	子 育 て	そ の 他	合 計
高齢者	1	24	2	8	18				3	56
障がい者		15	1			1				17
一人親家庭の 親子				5						5
その他	32	88	38	34	2				3	197
合 計	33	127	41	47	20	1	0	0	6	275

〔7〕在宅福祉活動の推進

在宅で安心して生活し続けるための一助にと取り組んだ『高齢者給食サービス事業』は、市内に設置されている福祉施設（団体）や民生委員児童委員等との連携をはかりながら実施した。また、外出困難な高齢者や障がい者に対して『福祉車両及び車椅子の貸し出し』を実施した。

1. 高齢者給食サービス事業

- | | |
|-------------------------------|-----------|
| (1) 普通給食の配食 | 毎週火曜日（昼食） |
| 給食利用者数 | 74名 |
| 延給食実施回数 | 36回 |
| 延配食数 | 1,825食 |
| (2) おせち料理の配食 | 12月31日 |
| 配食数 | 51食 |
| (3) 調理補助ボランティア活動数 | 延べ175回 |
| (4) 給食サービス事業調理協力施設（団体）連絡会議の開催 | 1回 |
| (5) 給食調理補助ボランティア連絡会議の開催 | 1回 |
| (6) キイステーション連絡会の開催 | 1回 |

2. 福祉車両貸し出し

利用者数 7名 / 貸出回数 延べ21回

3. 車椅子貸し出し

利用者数 6名 / 貸出回数 延べ7回

〔8〕地域包括支援センター事業の推進

「高齢者が安心して地域で生活を送ることができる」ことを目的に各事業に取り組んだ。

総合相談窓口として、本人・家族・他機関からの相談を受け、関係機関・多職種との連携支援を行った。

介護予防義務として、高齢者が要介護状態にならないように要支援者などに介護予防計

画の作成や介護予防に関する講演会の開催。また、地域からの希望テーマに合わせた出張講座を実施した。高齢者・家族を支援する地域の多職種、関係機関との会議や研修、支援を行った。

認知症施策総合推進事業として、認知症の人やその家族、認知症に関心のある人、専門職がお互いに交流をするとともに、認知症への理解を深めることを目的として認知症カフェ（オレンジカフェいずみさの）を開始した。

1. 支援の基盤整備

(1) 地域包括ケア会議の開催

開催回数 4回 参加機関 14機関

(2) 高齢者虐待早期発見・見守りネットワーク

開催回数 1回 参加機関 18機関

研修会 1回 参加人数 98人

高齢者虐待防止活動

高齢者虐待通報への対応件数 37件

担当者会議開催数 32回

(3) 多職種連携会議

開催回数 1回 参加機関 12機関

研修会 2回 参加人数 209人（延べ）

2. 総合相談・権利擁護

(1) 相談状況

相談実人数		617人	
相談延べ件数（対応回数）		3,005件	
相談形態内訳	訪問	771	25.6%
	来所面接	464	15.4%
	電話	1,770	59.0%

(2) 相談内容

相談内容		件数	割合
介護保険関係	介護保険制度	400	6.1%
	ケアプラン	429	6.5%
	サービス	546	8.3%
	住宅改修	46	0.7%
	施設入所	174	2.7%
	小計	1,595	24.3%
介護保険関係以外の 福祉サービス	緊急通報装置など(福祉制度)	136	2.1%
	ボランティアなど(制度外)	79	1.2%
	小計	215	3.3%

相 談 内 容		件数	割合
医療・保健相談	保健予防	104	1.6%
	入退院など（医療）	588	9.0%
	小計	692	10.6%
家庭介護・介護者支援	認知症	1,452	22.1%
	身体介護	26	0.4%
	精神介護	78	1.2%
	家庭環境	707	10.8%
	小計	2,263	34.5%
権利擁護	成年後見制度など	97	1.4%
	財産・経済問題など	563	8.6%
	虐待関係	978	14.9%
	小計	1,638	25.0%
その他生活上の相談	近隣トラブルなど	117	1.8%
	他	37	0.6%
	小計	154	2.3%
合 計		6,557	100%

(3) ブランチ型総合相談業務

委託事業所 5か所 年間相談件数 144件

- ・犬鳴山荘在宅介護支援センター
- ・在宅介護支援センター 泉ヶ丘園
- ・在宅介護支援センター ホライズン
- ・在宅介護支援センター 和
- ・レポート在宅介護支援センター

活動内容 高齢者の相談窓口 虐待・対応困難事例の支援

地域包括ケア会議・高齢者虐待防止ネットワーク会議への参加

3. 包括的・継続的ケアマネジメント業務

(1) 介護支援専門員に対する支援

ケアマネ支援件数 603件

(相談内容)

支援数	支援内訳（延べ）				
	ケアマネジメント	社会資源紹介	主治医連携	虐待防止	その他
603	751	37	17	265	89

(2) 事業所向け研修会

月 日	内 容	参加数
5月20日(月)	事例検討会	17
7月28日(日)	研修会 「いつまでもおいしく食べたい、食べさせたい」	20

月 日	内 容	参加数
9月13日(金)	事例検討会	12
10月18日(金)	主任ケアマネジャーのつどい	29
1月20日(月)	事例検討会	27
2月20日(木)	研修会 「介護保険制度下での自立支援となる福祉用具の 活用法や効果について」	59

(3) 介護支援専門員連絡会活動支援

開催回数 5回

6市町ケアマネジャー合同連絡会 6回 関連研修参加 2回

4. 介護予防マネジメント

要支援者・二次予防事業対象者に対する介護予防ケアプランの作成

要支援者：介護予防計画延べ作成件数 6,712件

(内訳) 包括作成 2,329件 委託件数 4,383件

二次予防事業件数：介護予防計画アセスメント件数 59件

5. 出張講座・介護予防教室等

介護予防・認知症・高齢者虐待・消費者被害などに関する内容 80回実施

延べ3,059人

6. 平成25年度介護の日 記念講演会

開催日 / 平成25年11月16日(土) 午後1時～3時

場 所 / 社会福祉センター 3階

内 容 / 記念講演 出口卓哉氏 (ファイナンシャルプランナー)

参加者 / 92名

7. 介護支援サポーター事業

登録申請者数	登録者数	活動人数 (実数)	活動人数 (延べ)	活動回数 (延べ)
7名	33名	6名	55名	235回

〔9〕 広報宣伝活動の推進と備品の貸し出し

社協機関紙を年5回発行し、社協活動をPRすると共にホームページ、ブログにより広く情報提供を行った。また、備品の貸し出しにより地域福祉に貢献した。

備品貸し出し 音響関係、ゲーム、プロジェクター他 延べ41件

〔10〕 日常生活自立支援事業の推進

介護保険制度の実施や社会福祉法の施行により、福祉サービスの利用が措置制度から選択・契約によるサービスへと変わり、判断能力が不十分な方が地域で自立した生活がおくれるよう、在宅者や施設利用者、入院者などへの支援・援助活動を行っている。

なお、成年後見等開始の審判市長申立については、市と連携を図っている。

※ 契約・活動 件数

内 容	本事業の利用に関するもの			合 計
	対象者 状況	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	
活 動 件 数	558	345	410	1,313
新 規 契 約 件 数	5	1	0	6
契 約 件 数	25	12	7	44

〔11〕 社会福祉協議会会員組織の充実と自主財源の強化

社協会員会費制度の継続加入と増加を図り、各町内会・福祉委員会他、福祉関係団体の協力を得て、8,080,800円（昨年比 -36,500円）の浄財が寄せられ、地域の福祉活動に利用していただく為、会員会費の50%を還付した。さらに、地区福祉委員会活動に10%還付した。

協賛会員制度については、新規加入が1件あり280,000円の浄財が寄せられた。

1. 各地区・社協会員会費募集状況

一 小 地 区	1, 5 7 1, 0 0 0 円
二 小 地 区	5 4 0, 0 0 0 円
三 小 地 区	7 8 1, 0 0 0 円
日 新 地 区	1, 1 0 4, 8 0 0 円
中 央 地 区	3 9 9, 0 0 0 円
長 滝 地 区	4 6 5, 0 0 0 円
北 中 地 区	9 2 5, 0 0 0 円
南 中 地 区	2 6 0, 0 0 0 円
長 坂 地 区	3 6 9, 0 0 0 円
佐 野 台 地 区	5 7 6, 0 0 0 円
上 之 郷 地 区	2 5 0, 0 0 0 円
日 根 野 地 区	3 0 0, 0 0 0 円
末 広 地 区	4 8 0, 0 0 0 円
大 土 地 区	6 0, 0 0 0 円
合 計	8, 0 8 0, 8 0 0 円

2. 協賛会員会費募集状況 (1口 10,000円)

泉佐野市長生会連合会	社会福祉法人 いちよの森
社会福祉法人 光会	社会福祉法人 常茂恵会
社会福祉法人 泉ヶ丘福祉会	社会福祉法人 水平会
社会福祉法人 犬鳴山	社会福祉法人 和泉の国
社会福祉法人 清光会	泉佐野地区 保護司会
社会福祉法人 来友会	泉佐野ルーテル保育園
社会福祉法人 アムリタ	社会福祉法人 あおい会
社会医療法人 栄公会	社会福祉法人 杉の子会

社会福祉法人 日新親友会	社会福祉法人 日根野福祉会
社会福祉法人 清和保育園	社会福祉法人 幸楽会
NPO法人 いきいきくらぶ	泉佐野ロータリークラブ
社会福祉法人 みやび	土丸町会
民生委員児童委員協議会	大木町内会
泉佐野商工会議所	株式会社日王

〔12〕 共同募金事業の推進

1. 赤い羽根共同募金運動

10月1日から12月31日にかけて赤い羽根共同募金運動として広く市民に協力を呼びかけ、戸別募金、街頭募金等を実施した。市内小中学校にも協力を依頼し小学校5校、中学校2校にて児童による募金活動が行われた。

募金額 2,831,732 円（昨年比 -158,014 円）

2. 歳末たすけあい運動

“地域でささえあうあったかい地域づくり”のスローガンにもとづき、「歳末たすけあい運動」を実施した。多くの浄財が寄せられ、ひとり暮らし高齢者の交流会やおせち料理の配食、児童が書いた年賀状の送付、また障がい児者を対象としたふれあいクリスマス会やふれあい交流会、親と子のふれあい人形劇のつどいなどに配分をし、福祉の増進に役立たせていただいた。

募金件数 73件 募金額 1,403,305 円（昨年比 +113,680 円）
払出金額 1,212,935 円

〔13〕 低所得世帯への支援

低所得者世帯や高齢者・障がい者世帯、生計中心者が失業した世帯に対して、大阪府生活福祉資金貸付の窓口として相談を受け付けるとともに、必要に応じ民生委員による支援を要請し、世帯の経済的な自立を助けた。

また、相談内容により貸付対象に該当しないケースにおいても、必要に応じて社会貢献事業につなぐ等の対応を行った。

相談件数	510件		
貸付種類	生活福祉資金 (総合支援資金を除く)	総合支援資金 ※臨時特例つなぎ資金 含む	小口生活資金
申込件数	27件	11件	9件
申込金額	22,058,000 円	5,090,000 円	650,000 円

〔14〕 市立社会福祉センターの管理運営

社会福祉センターの管理運営業務を受託し、施設の環境を整備するとともに利用者が快適に利用できるよう、設備機器の保守点検を委託し建築物の定期調査を実施した。

照明の LED 化や空調温度管理などを行い、電気代の削減に努めた。また、浴場ボイラ

一の修理及び浴室天井塗装を行い設備の更新を行った。

職員研修では、自衛消防訓練、人権研修等を実施し、職員の意識向上を図った。

1. 高齢者・障がい者交流会及び研修会の開催

開催日	研修会名	参加人数
7月17日(水)	夏の寄せ植え園芸福祉講座 福祉センター3階 大会議室	30人
1月31日(金)	新春お笑い交流会 ・「かがやき」による歌体操 ・「ミスマッチ」によるお笑いコント ・抽選会及びぜんざいの販売など	120人

2. 福祉センター利用状況

風呂利用者数	娯楽室利用者数
7,665人	12,421人

会議室利用件数

	第1会議室		第2会議室		大会議室		合計	
午前	96件	702人	85件	882人	181件	8,957人	362件	10,541人
午後	188件	2,728人	143件	1,812人	186件	7,754人	517件	12,294人
夜間	128件	2,365人	32件	469人	16件	1,648人	176件	4,482人
合計	412件	5,795人	260件	3,163人	383件	18,359人	1,055件	27,317人